

令和3年5月20日から21日にかけての梅雨前線による大雨について (愛媛県の気象速報)

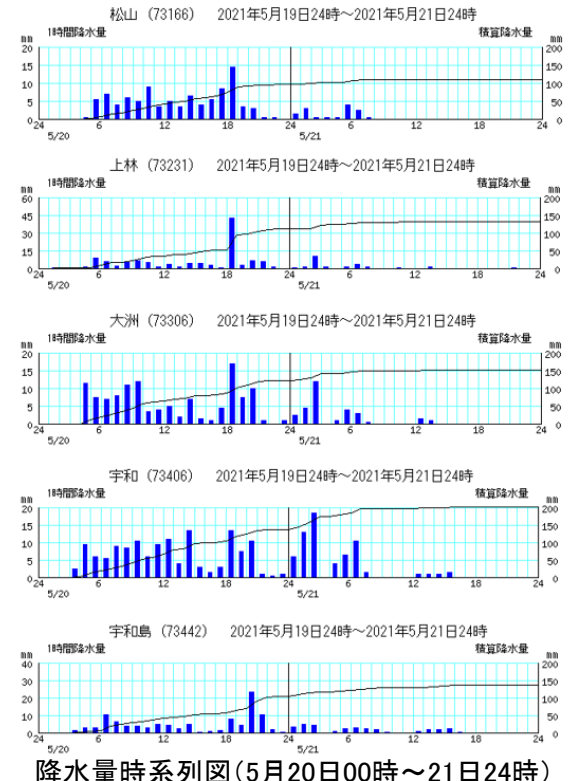
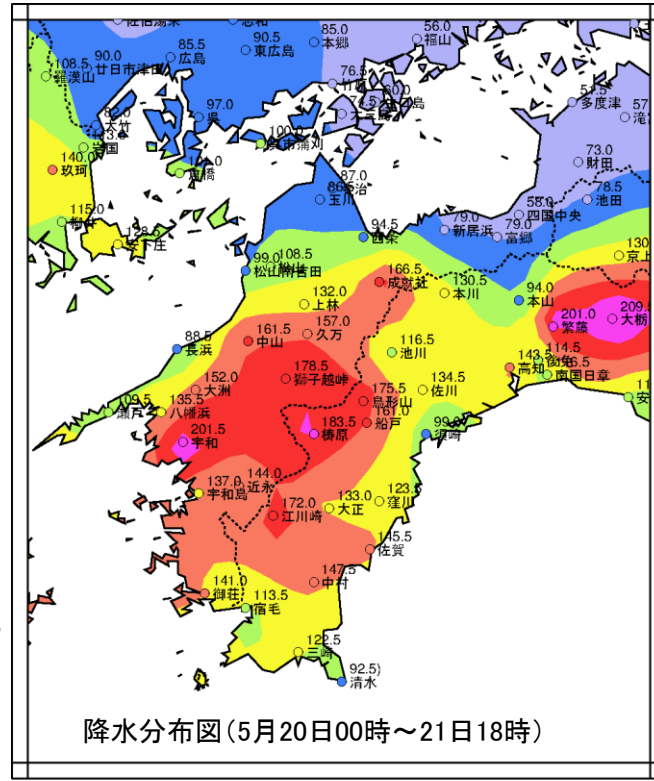
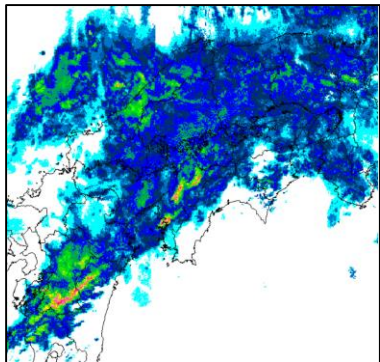
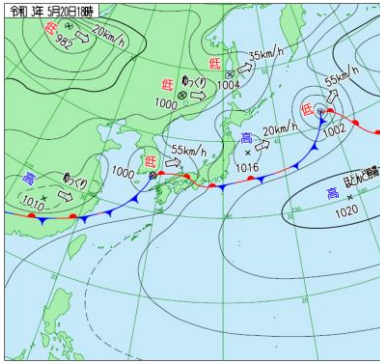
この資料は速報として取り急ぎまとめたものです。そのため、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。

概要

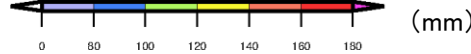
5月20日から21日にかけて、四国地方を梅雨前線が北上し、その後南下しました。この梅雨前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、前線の活動が活発となったため、大気の状態が非常に不安定となり、愛媛県では大雨となりました。

愛媛県では、県内5か所で日降水量(5月20日)が、伊予市中山126.0ミリ、大洲122.0ミリ、内子町獅子越峠120.5ミリ、東温市上林110.5ミリ、松山空港90.0ミリを観測し、5月としての観測史上1位の値を更新しました。

愛媛県と松山地方気象台は、20日19時15分に宇和島市に土砂災害警戒情報を発表し土砂災害への嚴重な警戒を呼びかけました。21日18時時点の愛媛県のまとめによると、人的被害、住家、非住家の被害はありませんでしたが、土砂災害が2か所で発生しました。



5月20日18時30分 レーダー画像



※横軸は時刻を示す。
※降水量棒グラフは1時間降水量(左軸)、折れ線グラフは積算降水量(右軸)を示す(単位mm)。